

問い合わせ先
海上保安庁
海洋情報部企画課
主任調査企画官 鮫島 真吾
電話 03-5500-7137



平成24年5月31日
海上保安庁

～海洋情報業務体験講座の開催について～

テーマ：うみの地図「海域の地理空間情報」の整備・提供のしくみ

海上保安庁海洋情報部が行っている業務を理解していただくために、高等学校等の教員及び海洋情報業務に興味のある大学生等を対象として、海洋情報業務体験講座を実施します。

1 目的

海上保安庁海洋情報部は、海洋権益の保全や海上交通の安全確保、海洋環境の保全、防災等のために海洋調査を行い、この調査によって得られたデータを基に、海図等の水路図誌を刊行するなど、さまざまな海洋情報を提供しています。

体験講座では、これらの海洋調査から海図ができるまでの流れに沿って講義を行うとともに、測量船「昭洋」に乗船し、実際に海上で行われる調査作業の体験などを通じ、海洋情報業務に対する関心を深めていただくこととしています。

2 日時

平成24年8月6日（月）1000～1715（1日目：講座）

8月7日（火）0930～1700（2日目：体験乗船）

3 開催場所（「※開催場所の位置図」参照）

1日目 講座

海上保安庁海洋情報部10階国際会議室（東京都江東区青海2-5-18）

・新交通ゆりかもめ「テレコムセンター」駅 徒歩5分

2日目 体験乗船

測量船「昭洋」船上（東京都港区台場1-4）

・新交通ゆりかもめ「台場」駅 徒歩5分

4 体験講座の内容

1日目 講座（午前10時00分受付開始、午後5時15分終了予定）

海域における測量や海図の作製について講義を行います。また、海図の作製現場や調査に使用する調査機器等の見学を行います。

2日目 体験乗船（午前9時30分集合、午後5時頃終了予定）

測量船「昭洋」に乗船し、船内の見学や海の測量の見学、実習等を予定しています。

※測量船「昭洋」

総トン数 3,000トン

長さ 98メートル

主要観測機器

マルチビーム測深機

CTD（水温塩分計）

ADCP（超音波流速計）

測量船「昭洋」は、海上保安庁海洋情報部に所属する海洋調査を専門とする大型測量船5隻のうちの1隻で、主に外洋において海域火山調査や海洋汚染調査を行っています。近年は、大陸棚の限界画定のため、マルチビーム測深機による海底地形調査等を行うほか、東日本大震災では、緊急輸送航路の確保のため、他の測量船とともに東北地方の主要港湾の航路障害物調査等に従事し、復旧活動の一翼を担いました。



5 募集要項

(1) 対象者

地理等を担当する高等学校及び高等専門学校教員並びに海洋情報業務に興味のある大学生等

(2) 定員

30名（先着順）

なお、定員となり次第、締め切りとさせていただきます。

(3) 応募方法

郵便番号、住所、氏名・年齢、所属、担当・専攻科目、連絡先・メールアドレスを明記の上、ハガキ、FAXまたはメールでご応募ください。

(4) 申込先

〒135-0064

東京都江東区青海2-5-18 海上保安庁海洋情報部

担当者 海洋情報部企画課 体験講座担当

電話 03-5500-7137（直通）

FAX 03-5500-7179

E-mail taiken-koza@kaiho.mlit.go.jp

(5) 締め切り

7月25日（水）必着

(6) その他

本体験講座は全2日間のプログラムとなっております。

1日目（講座）のみの参加は可能ですが、2日目（体験乗船）のみの参加は受け付けておりません。

参加者には、別途日程表などをご連絡いたします。

気象状況や業務都合等により、体験講座の内容の変更や中止となる場合がありますので、予めご了承ください。

6 取材について

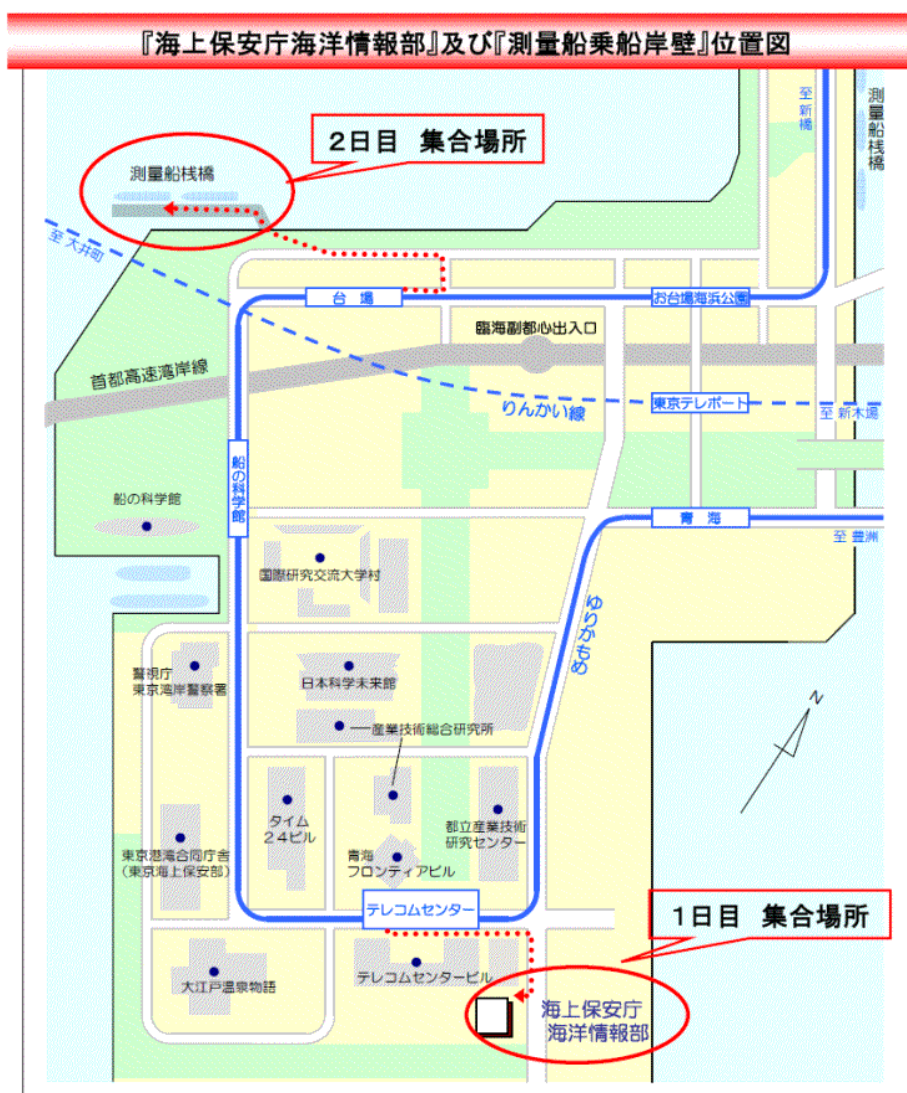
取材をご希望される方は、事前に問い合わせ先までご連絡下さい。

取材可能時間

1日目 講座 終日

2日目 「昭洋」体験乗船 終日

※開催場所の位置図



昨年の実施状況



講義の様子



施設見学



測量船上における実習